

(1)

2014年6月21日

The Kyodan Times

(1933年12月28日 第三種)  
郵便物認可 隔週土曜日発行

第4800号

# 教団新報



左より、新しく選出された古澤副議長、菅根議長、加藤書記

定価 1部144円(本体133円+税20円)  
予約購読料 1年分 〒共 5,150円  
紙代のみ 3,600円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会内 電話03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
URL http://uccj.org  
発行人 長崎哲夫  
編集主筆 渡邊義彦  
印刷所 株式会社かんし

2014年度

## 教区総会報告 2

兵庫  
東海  
西中国  
中部  
奥羽

### 教団総会開催年、重要案件を審議

阪神・淡路大震災19年、  
東日本大震災・福島原発事  
故3年の歩みの中で「教区  
は長田センターを中心とし  
て被災地救援活動を行い、  
特に東北教区エマオとの協  
力により支援してきた。原  
子力という本来人間が手を  
出してはいけないものによ  
り、それが生活反省し、  
被害を最小限に抑える努力  
が必要である。特に福島の  
子どもたちの支援をはじめ  
引き続き積極的な参与が求  
められる」。

正・副議長選挙、常置委  
員選挙は、すべて予備投票、  
上位得票者による所信表  
明、本選挙を行う。また教  
員総会議員選挙は、自薦他  
【議長】菅根信彦(神戸)、  
【副議長】古澤啓太(神戸)、  
【書記】加藤俊英(東部)

兵庫教区 第68回兵庫教  
区総会が5月18日、神戸栄光教会を  
会場に開催された。出席議  
員は、開会時、219名中  
小林聖議長は、17ページ  
に亘る詳細な議長報告から  
特に次の4点を取り上げ報  
告した。

阪神・淡路大震災19年、  
東日本大震災・福島原発事  
故3年の歩みの中で「教区  
は長田センターを中心とし  
て被災地救援活動を行い、  
特に東北教区エマオとの協  
力により支援してきた。原  
子力という本来人間が手を  
出してはいけないものによ  
り、それが生活反省し、  
被害を最小限に抑える努力  
が必要である。特に福島の  
子どもたちの支援をはじめ  
引き続き積極的な参与が求  
められる」。

## 宣教基礎理論改訂、 全教団的協議会開催を要望

薦によるすべての候補者の  
所信表明、本選挙を行う。

【教職】眞人(宝塚)、小林  
聖(豊岡)、竹内富久恵(神戸)  
愛生)、大仁田拓朗(鈴蘭  
台)、西澤他喜衛(甲東)、東  
島勇人(兵庫松本通)、川上  
揚(明石)、川崎善三(姫路福音  
砂)、川崎睦(立花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤啓  
介(東神戸)、敏木誠也(神戸)、愛原  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)、川端二四雄(姫路福  
音)、勢造博之(広石)、合田  
稔(立花)、小笠原務(東灘)

【教職】小林聖(豊岡)、眞人  
人(宝塚)、古澤啓太(神戸東  
部)、菅根信彦(神戸)、車田  
誠治(龍野)、西澤他喜衛(甲  
東)、大仁田拓朗(鈴蘭台)、  
豊田通信(神和)、竹内富久  
恵(神戸愛生)、手東正昭(高  
砂)、川崎善三(姫路福音)、  
川上揚(明石)、樋本睦(立  
花)

【信徒】宮本真希子(甲東)、  
森章一(神戸栄光)、津村正  
敏(明石)、小笠原務(東灘)、  
有森和可奈(北六甲)、村瀬  
淳士郎(兵庫松本通)、進藤  
啓介(東神戸)、中林成子(須  
磨月見山)、小林園子(姫  
野)



# 「伝道資金」について活発な議論

東海教区 東海教区総会  
は、5月20日か  
ら21日まで、池の平ホテル  
において行われた。開会時  
議員204名中166名出席  
により総会は成立した。

田博議長は、教勢の低下的  
中、主に守られて歩んでい  
ることに感謝を述べ、一年  
の歩みを振り返った。教区  
財政の歳入が減少している  
中、教区活動・財政検査委  
員会からの提言を議論して  
いること等を報告した。

質疑において、教団東日本  
大震災国際会議の議長声  
明の、聖書が語ることと原  
理を述べると共に、原発で  
責任を持つているのか」と  
いう視点を持つことの大切  
さを述べると共に、原発で  
働く人々も牧会の対象であ  
り、丁寧に進めるべきと応  
じた。他の質疑について、  
伝道の課題については、「人  
を育てる」ことの大切さ、  
幼保一体化については、待  
機児童の課題と並んで、待  
機高齢者の課題があること  
を述べた。

問安接待における伊藤副議長挨拶においては伊  
藤瑞男教団副議長が教団總  
會議長挨拶を朗読。信仰の  
一致に基づく伝道協力」に  
関し、「北村氏に対する対処  
は反対である」と応じた。

教団問安接待に対する質  
疑においては、東海教区が、  
教区活動連帯金を脱退して  
いることの経緯が述べられ  
た。東海教区は、「資金を配分  
する際の基準が曖昧である  
中で、先に進むのは乱暴」  
との意見が述べられた。分  
科会でも、伊藤副議長から  
説明を受けつつ協議がな  
された。教団の委員会が審  
査して配分を決めることに  
統してしまった。

伊藤副議長は、平衡資金  
を推進は相容れないと姿  
勢を教区として受け止  
めて行くのが問われた。  
松木田議長は、「被造世界に  
対して、私たちがどういう  
責任を持っているのか」と  
いう視点を持つことの大切  
さを述べると共に、原発で  
責任を持つているのか」と  
いう視点を持つことの大切  
さを述べると共に、原発で  
働く人々も牧会の対象であ  
り、丁寧に進めるべきと応  
じた。他の質疑について、  
伝道の課題については、「人  
を育てる」ことの大切さ、  
幼保一体化については、待  
機児童の課題と並んで、待  
機高齢者の課題があること  
を述べた。

本総会において、活発に  
議論されたのは、教団の伝  
道資金についてである。教  
長は、正確な数は把握して  
いないことを告げ、「北村問  
題は裁判になつており、そ  
の他の問題とは異なる」と  
応じた。

本総会において、活発に  
議論されたのは、教団の伝  
道資金についてである。教  
長は、正確な数は把握して  
いないことを告げ、「北村問  
題は裁判になつており、そ  
の他の問題とは異なる」と  
応じた。

教団が責任を持って、平衡  
資金の在り方を受け継ぎつ  
つ、伝道のために用いられ  
る資金にならざる吟味して  
行ことを告げた。更には、  
教区の状況を数値化する難  
しさを述べ、信頼関係を築  
く重要性を述べた。



## 3宣教師より活動報告を受ける

### ● 活動報告

教団 新報

#### ▼世界宣教委員会▲

(3) 2014年6月21日  
東海教区 東海教区総会  
は、5月20日から21日まで、池の平ホテル  
において行われた。開会時  
議員204名中166名出席  
により総会は成立した。

田博議長は、教勢の低下的  
中、主に守られて歩んでい  
ることに感謝を述べ、一年  
の歩みを振り返った。教区  
財政の歳入が減少している  
中、教区活動・財政検査委  
員会からの提言を議論して  
いること等を報告した。

質疑において、教団東日本  
大震災国際会議の議長声  
明の、聖書が語ることと原  
理を述べると共に、原発で  
責任を持つているのか」と  
いう視点を持つことの大切  
さを述べると共に、原発で  
働く人々も牧会の対象であ  
り、丁寧に進めるべきと応  
じた。他の質疑について、  
伝道の課題については、「人  
を育てる」ことの大切さ、  
幼保一体化については、待  
機児童の課題と並んで、待  
機高齢者の課題があること  
を述べた。

問安接待における伊藤副議長挨拶においては伊  
藤瑞男教団副議長が教団總  
會議長挨拶を朗読。信仰の  
一致に基づく伝道協力」に  
関し、「北村氏に対する対処  
は反対である」と応じた。

教団問安接待に対する質  
疑においては、東海教区が、  
教区活動連帯金を脱退して  
いることの経緯が述べられ  
た。東海教区は、「資金を配分  
する際の基準が曖昧である  
中で、先に進むのは乱暴」  
との意見が述べられた。分  
科会でも、伊藤副議長から  
説明を受けつつ協議がな  
された。教団の委員会が審  
査して配分を決めることに  
統してしまった。

伊藤副議長は、平衡資金  
を推進は相容れないと姿  
勢を教区として受け止  
めて行くのが問われた。  
松木田議長は、「被造世界に  
対して、私たちがどういう  
責任を持つているのか」と  
いう視点を持つことの大切  
さを述べると共に、原発で  
働く人々も牧会の対象であ  
り、丁寧に進めるべきと応  
じた。他の質疑について、  
伝道の課題については、「人  
を育てる」ことの大切さ、  
幼保一体化については、待  
機児童の課題と並んで、待  
機高齢者の課題があること  
を述べた。

本総会において、活発に  
議論されたのは、教団の伝  
道資金についてである。教  
長は、正確な数は把握して  
いないことを告げ、「北村問  
題は裁判になつており、そ  
の他の問題とは異なる」と  
応じた。

教団が責任を持って、平衡  
資金の在り方を受け継ぎつ  
つ、伝道のために用いられ  
る資金にならざる吟味して  
行ことを告げた。更には、  
教区の状況を数値化する難  
しさを述べ、信頼関係を築  
く重要性を述べた。

教団総会議員選挙結果  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺族は息・雨宮努さん。

佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)  
佐古純一郎氏(隠退教師)

14年4月7日逝去、83歳。  
小出望(長野県町)、小林真  
七里(滋賀県)、柳谷知之(松  
井澤子年金局業務室長)が挨  
拶した。震災救援に対する  
感謝を述べた。

2日目の朝、2名の准允  
式が執行された。  
【教師】松木田博(甲府)、宮  
本義弘(沼津)、佐々木美知  
夫(静岡)、宇田真(岩手)、  
和田恵子(信州)、(鶴田恵悟報)

新潟県に生まれる。45年千  
葉書農学園神学部卒業、  
50年遠州教会に赴任。  
豊後高田、名瀬、宮古島、  
日出教会を経て、00年に隠  
退。遺

「あ、オベリンナー、もう手を挙げて イエス イエス イエスと  
(女声) イエス イエス イエスと  
(男声) 叫ぼうよ。」  
このインパクトのある桜美林学園歌に聴き覚えの方は、恐らく50歳代以上の方ではないかと拝察します。「夢を見よ、夢は必ずあるものぞ、うそと思はず甲子園のこと。P.L.学園を破つて優勝した際に、全国に流れたこの校歌

は、創立者・清水安三が詠んだのは1976年夏の甲子園のこと。P.L.学園を破つて優勝した際に、全国に流れたこの校歌

は、敗戦を機に中国政府の管轄下におされたものの、帰国後、新たな学校建設を決意した清水安三は、「眞の学問・教養は、神そして世の人々に事(つか)えるためにある」とする、「学而事人(がくじじじん)」Learn ing & Laborを建学の精神として掲げ、敗戦の翌年1946年に、賀川豊彦の助力を得て『桜美林学園』をスタートさせます。キリスト教精神に基づく国際人(超国家的人間)の育成をモットーに掲げた学園に、創立者の理想は連綿と受け継がれています。

## 教務教師 神学教師からの声

### 夢と希望の語りべ

土橋 敏良

(桜美林学園チャップレン)

がいまだに耳に残つてゐるといつても時々いらっしゃいます。戦時中、清水が組合教会の派遣宣教師として中国に渡り、飢餓に瀕した北京での災童収容施設から始まつた学園の歴史も2021年には創立100周年を迎えます。当時(1924年)、清水安三はこのような言葉を遺してゐます。「私たちを超越して中国のために中国で伝道することを望む。…いずれの国にあっても十人や百人ぐらい、自國のことを忘れてしまつて外国のために身を獻け

若者たちにいくら強調しても強調し過ぎるということはありません。教務教師は、聖書やキリスト教を「教科として扱うにせよ、单



チャペルアワーの様子

るものがあつてもよいと思つ。そういうような超国家的な人間が他のために働いているということが、民族と民族を親善ならしめるのだ」(著書『石ころの生涯』174頁)。

桜美林の前身である崇貞学園は、敗戦を機に中国政府の管轄下におされたものの、帰国後、新たな学校建設を決意した清水安三は、「眞の学問・教養は、神そして世の人々に事(つか)えるためにある」とする、「学而事人(がくじじじん)」Learn ing & Laborを建学の精神として掲げ、敗戦の翌年1946年に、賀川豊彦の助力を得て『桜美林学園』をスタートさせます。キリスト教精神に基づく国際人(超国家的人間)の育成をモットーに掲げた学園に、創立者の理想は連綿と受け継がれています。

生き方を見失い、絶望の淵にうずくまる日々を過ごしていた一人の若者の心に、夢と希望の光が射しこみはじめた時、そして、学校生活の中で多様な価値や文化に触れ、信仰と知性において一回り大きな成長を遂げて門出していく時、教会と学校との間の連携や相互理解を深めるためにも、キリスト教学校教育同盟や各キリスト教徒に夢を抱かせよ、教育とは結局、愛である!そして清水安三が愛した聖句は、「為ん方(せんかた)つくれども希望(のぞみ)を失わづ」(文語訳コリント後書4章8節)の御言葉でした。

清水安三は、即座にこう答えたといいます。「生徒に夢を抱かせよ、教育とは結局、愛である!そして清水安三が愛した聖句は、「為ん方(せんかた)つくれども希望(のぞみ)を失わづ」(文語訳コリント後書4章8節)の御言葉でした。

「夢」や「希望」は、まだお母さんのおなかの中にいる時から、あなたを知つてましたよ」と受洗牧師である植省三郎牧師から言われた。植牧師の牧する日本基督教団の教会富良野教会のオルガニスト兼長老だった伯母の教導のもと、姉妹共々日曜学校に通つた。夕礼拝・祈祷会にも出席し、居眠りをして椅子から落ちそうになつたりしたことを思い出す。

教団の教会へは、父親がメソジスト教会の元牧師であった康夫氏との結婚を通して転入しました。実は、教団の教会について夫は、少女期の愛読書「赤毛のアーヴィング」で長老派がメソジストを軽んじるくだりがあり、似たような戸惑いをずっと感じていた。

夫とは明治学院大学の剣道部に勤められた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ることができ感謝であった。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大いに励まされた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ることができ感謝であつた。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大

いに励まされた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ることができ感謝であつた。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大

いに励まされた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ることができ感謝であつた。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大

いに励まされた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ことができ感謝であつた。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大

いに励まされた。

一方で、いわゆる「地方教会」の状況を知ことができ感謝であつた。各教区において宣教・財政等の計画を立て、宣教の働きを推進していることを知られ、大